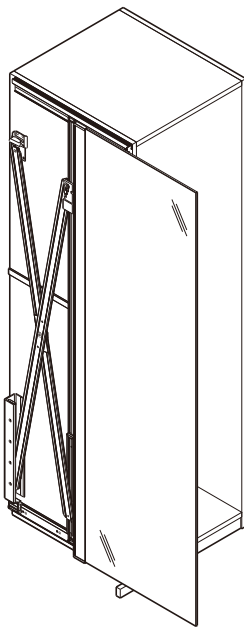


コンセプト 25/30 (ガラス扉用) 取付説明書

このたびは、コンセプト 25 / 30 (ガラス扉用) をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。この製品は、屋内引戸用として設計されたものです。このほかの目的には使用しないでください。作業を行う前に、必ずこの取付説明書をお読みください。



警告

誤った取り付けは、施工時だけでなく使用時に思わぬけがをするおそれがあります。本書の説明、注意事項をお守りください。

本書について

本取付説明書は、一つの現場に一か所のコンセプト25/30(ガラス扉用) を取り付けることを想定したうえで、もっとも安全かつ効率的に取り付けできると思われる方法を記載しました。

必ずしも取り付けの順序や方法を規制するものではありません。作業される方におかれましては、専門家としてのノウハウをお持ちのことと考えておりますので、この取付説明書に記載された方法にとらわれず、専門知識と経験に基づいて製作してください。

その場合においても、事前にこの取付説明書に一度は必ず目を通してくださるようお願いいたします。

また、本製品には外国語版取付説明書も付属されていますが、本書をお読みいただければ、外国語版取付説明書をお読みいただかなくても良いように構成しております。

免責について

現場の状況や取付作業の結果としての品質は、当社の影響の及ばないいくつかの要素から成り立っています。

したがって当社では、これらが原因となって発生した副次的な損失や損害、または出費についての責は負えませんので、ご容赦させていただきます。ご理解のうえ、ご了承いただきますようお願いいたします。

HAWA コンセプタ25/30(ガラス扉用)

1. 製品の仕様

	コンセプタ 25 (ガラス用扉)	コンセプタ 30 (ガラス用扉)
扉質量	25kg	30kg
扉幅	300～900mm	300～900mm
扉高さ	1250～1850mm	1851～2500mm
ガラス厚	8mm	8mm
扉の最大引込量	577mm	818mm

■留意点

- ・製品は左吊元、右吊元共用ですが、本書は左吊元仕様で説明します。
- ・扉が閉まった際の戸当り、キャッチ等はお客様にてご用意ください。
- ・中帆立は、メンテナンスできるように取り外し可能な構造にしてください。
- ・ガラスは強化ガラスをお使いください。
タイプ 1、タイプ 4 は材質、仕様によっては、吊元部裏側の縦枠がガラス越しに見えます (P.11 参照)。

 **注意** 製品が支障なく動くためには、機構部取付面や扉の反り、ねじれが ±2mm 以内であること。

2. 作業前に確認いただくこと

内容物と数量の確認を行なってください。

現場に取り付けるコンセプタ金物の扉の枚数を確認し、内容物の確認を行ってください。

製品が届いたらすぐに梱包を解き、内容物の数と状態の確認を行ってください。不足や不備がある場合、使用せず直ちに 販売店様または弊社までご連絡ください。

3. 必要な工具

- ・十字ねじ回し 2 番
- ・六角棒スパナ (ボールポイント式) 呼び 2.5
- ・六角棒スパナ (ボールポイント式) 呼び 3 (製品付属工具で代用可)
- ・アルミ材を切る金のコ
- ・カッター
- ・ドリル刃 φ12
- ・スパナ 13
- ・六角棒スパナ 5

4. お願い

1. コンセプタに仕様以上の負荷をかけないでください。本製品がユーザ様の期待する性能を発揮させるため、および使用中の事故を防ぐための重要なお願いです。
2. 本製品を建築物等に取り付ける場合、付属のねじまたは指定の呼びのねじをお使いください。
3. 製品の性能向上等の改良により、製品とこの取付説明書の内容が食い違わないよう努力しております。しかし、万が一これらに食い違いがありましたら、裏表紙のお問い合わせ先にご連絡ください。
4. 使用する木部品は、十分に乾燥させ、強度を持った材料をお使いください。
不適切な木部品を使用すると、経年変化で反りなど変形して不具合を生じることがあります。

H A W A - コンセプタ25/30(ガラス扉用)

	コンセプタ25G	コンセプタ30G
部品セット ①～⑳	22311	22312

■ 部品セットの内訳

No.	形状	部品名	寸法	品番	コンセプタ25	コンセプタ30
①		連動バー	1800 mm	22055	1	—
			2500 mm	22056	—	1
②		フロントガイドレール	420 mm	22317	1	1
③		リアガイドレール	420 mm	21850	1	1
④		クロスアーム	880 mm	22592	1	—
			1480 mm	22593	—	1
⑤		リアブラケット		22282	1	1
⑥		ガラス用ヒンジ		22307	3	3
⑦		ガイドレール	723 mm	23198	2	—
			891 mm	23199	—	2
⑧		ブラシシールベース	1850 mm	21969	1	—
			2500 mm	21970	—	1
⑨		ブラシシールクランプ 6ヶセット		22289	1 組	1 組
⑩		ブラシシール	1850 mm	22808	1	—
			2500 mm	22809	—	1
⑪		ガイドローラー		22267	2	2
⑫		ストッパーA		22254	1	1
⑬		ストッパーB		22255	1	1
⑭		エンドダンパー とキャップ		22302	1	1
⑮		皿タッピンねじ 4.5×20		22451	25	25

No.	形状	部品名	寸法	品番	コンセプタ25	コンセプタ30
⑯		扉縦枠A	1850 mm	22436	1	—
			2500 mm	22050	—	1
⑰		ヘキサロビュラレンチ T20		22627	1	1
⑱		六角棒スパナ (ボールポイント式) 呼び3		13164	1	1
⑲		ガラス固定セット		22600	1	1
⑳		ガイドバー	860mm	22861	1	1

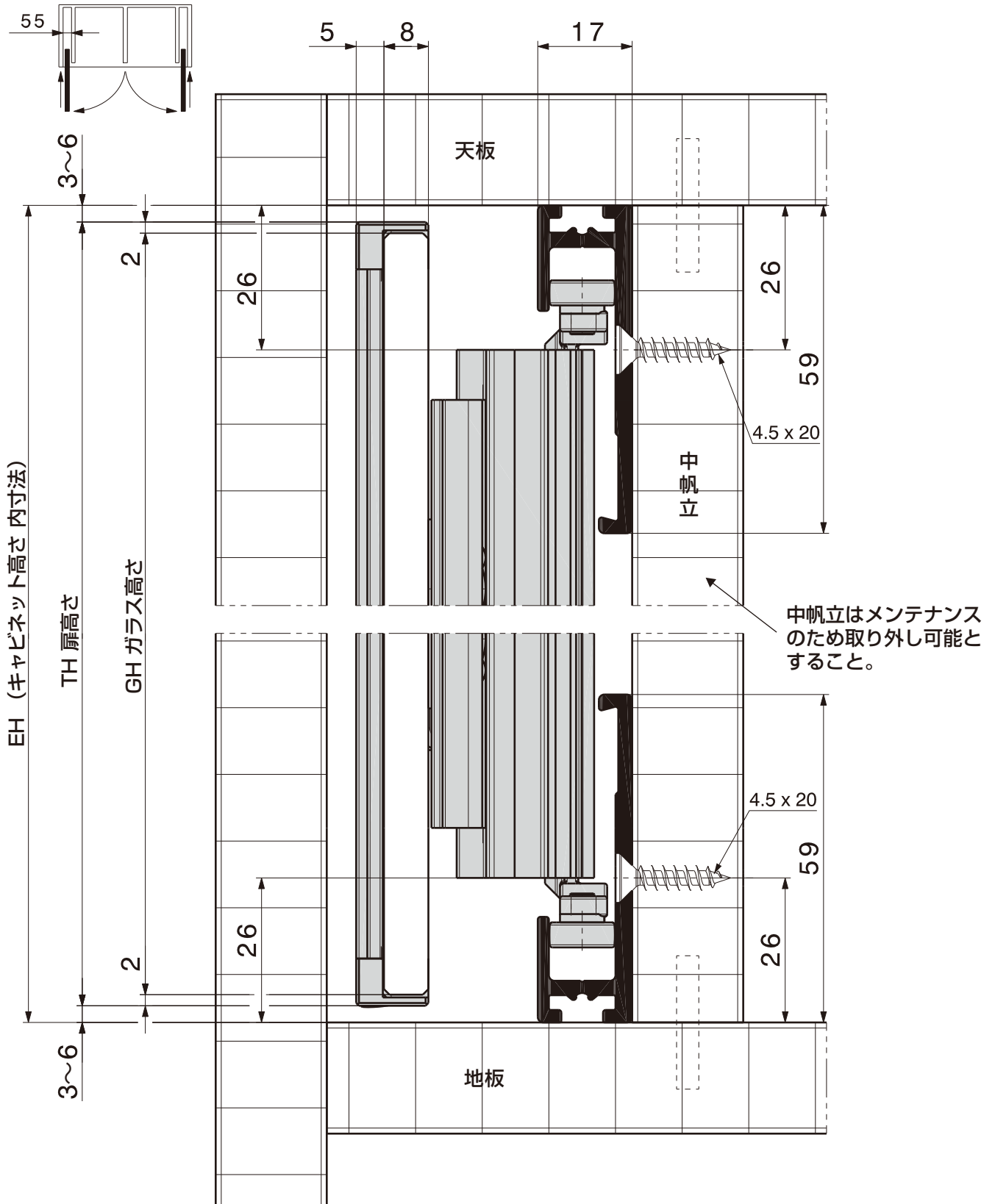
No.	形状	部品名	寸法		品番	コンセプタ25	コンセプタ30
			寸法	品番			
⑳		連結ブラケット	891 mm	(23221)			
			900 mm	(23222)			
㉑		化粧カバー		(22608)			
㉒		カバースクリーン、 プロファイル、 扉縦枠B	1850 mm	(22609)			
			2500 mm	(22610)			
㉓		プロファイル、 扉縦枠C	1850 mm	(22612)			
			2600 mm	(22613)			
㉔		ハンドル (t8ガラスとt20木扉用)	400 mm	(22692)			
㉕		ハンドル (扉枠C 取付用)	400 mm	(22688)			
			1260 mm	(22689)			
			2850 mm	(22690)			

- ・品番に () がついているのはオプション部品です。
- ・品番に (*)がついているのはオプション部品の詳細部品です (部品内訳はP.16参照)。

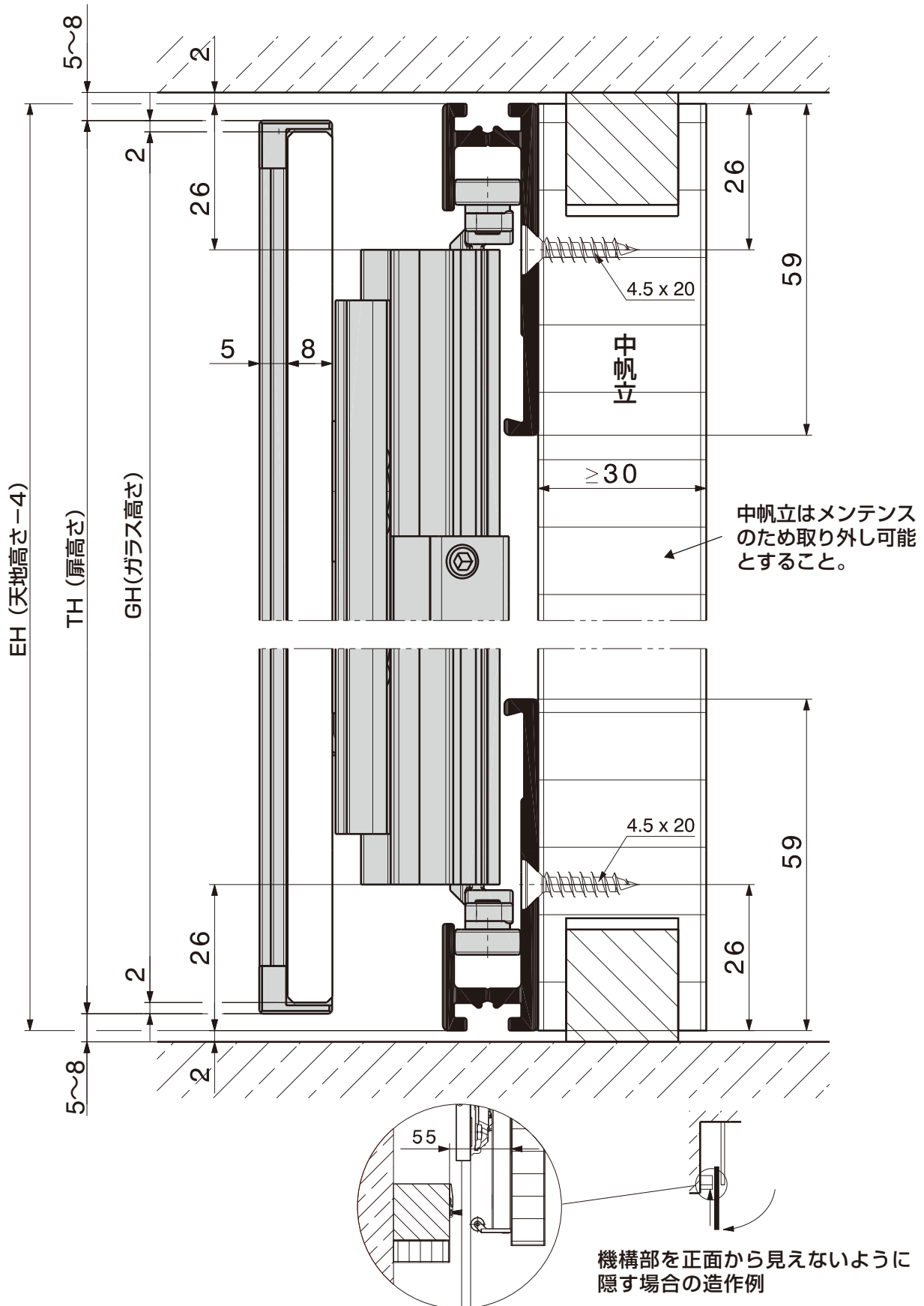
※1：⑤リアブラケットは左吊元用に組み立ててあります。右吊元用にはダンパー部を反対側へ組み替えてください。(本文中の説明を参照願います。)

※2：⑭エンドダンパーは左吊元用に組み立ててあります。右吊元用にはダンパーを反対側へ組み替えてください。(本文中の説明を参照願います。)

キャビネット内の扉を収納する仕様 インセット扉 (タイプ2～タイプ4 オプション取付例)



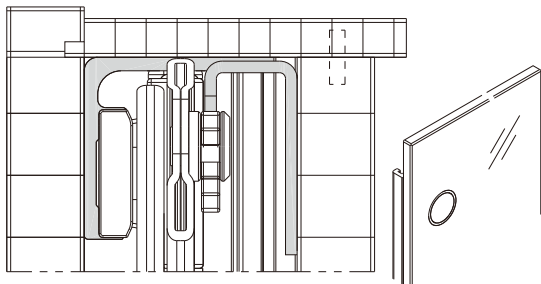
建築空間に直接取り付ける仕様



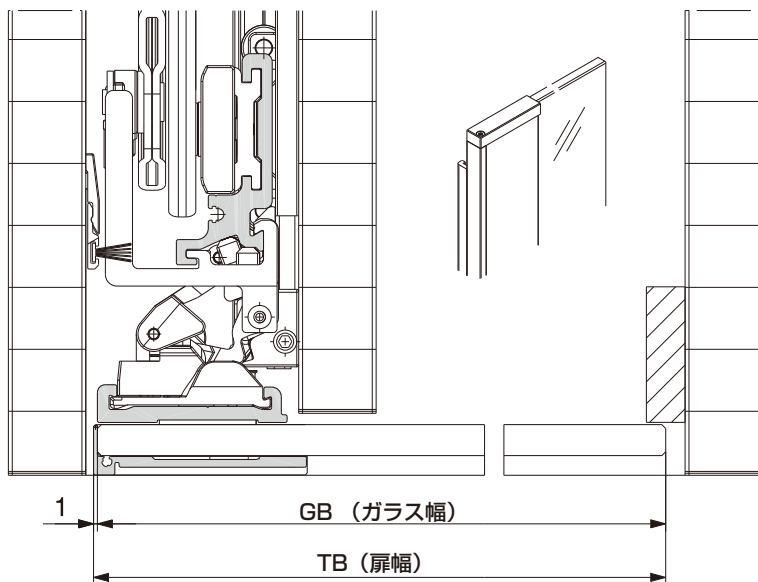
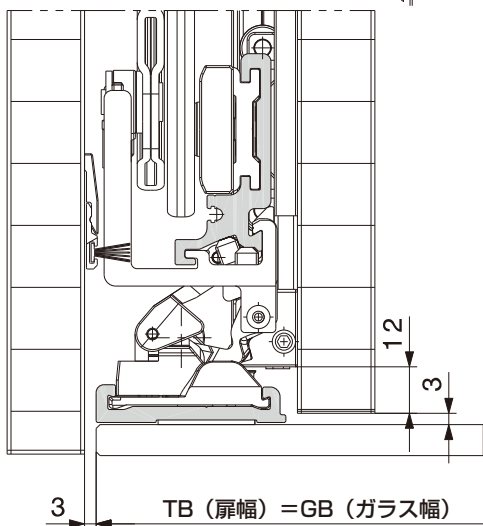
扉タイプのバリエーション

扉は基本パーツセットとオプションの組み合わせにより、仕様は4通りあります。

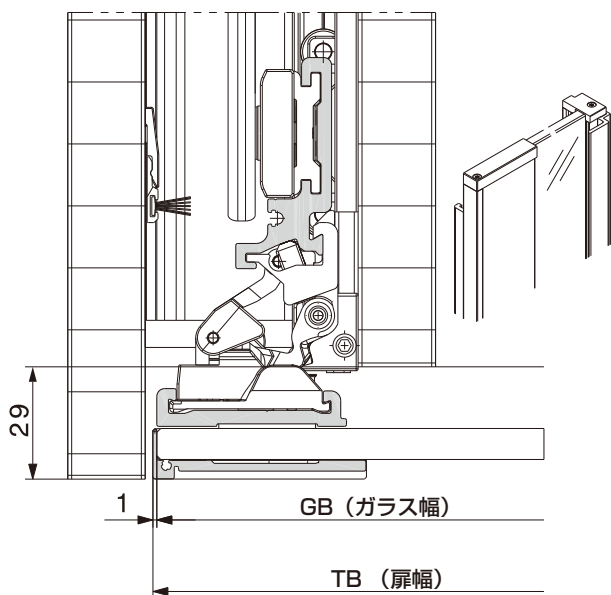
タイプ1 枠なし



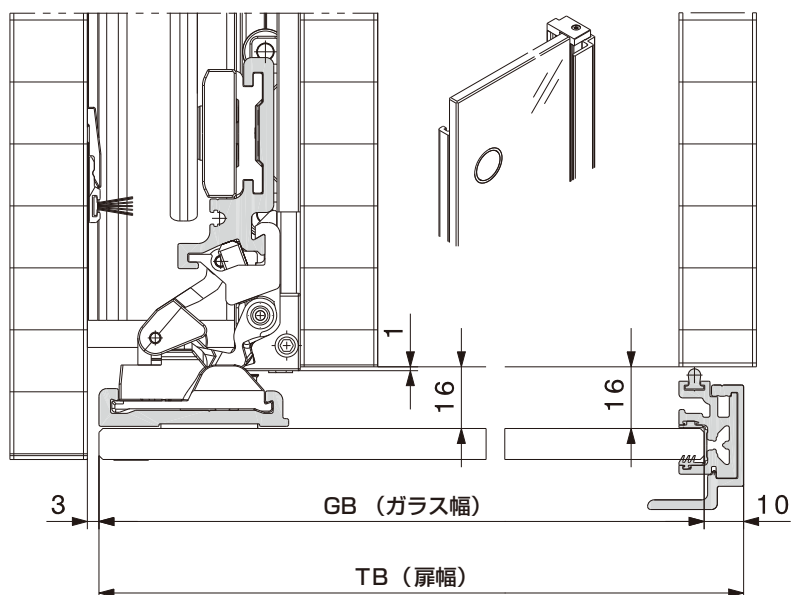
タイプ2 吊元縦枠付



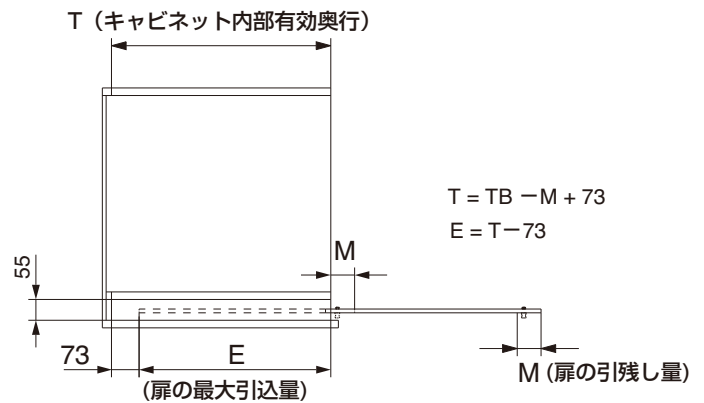
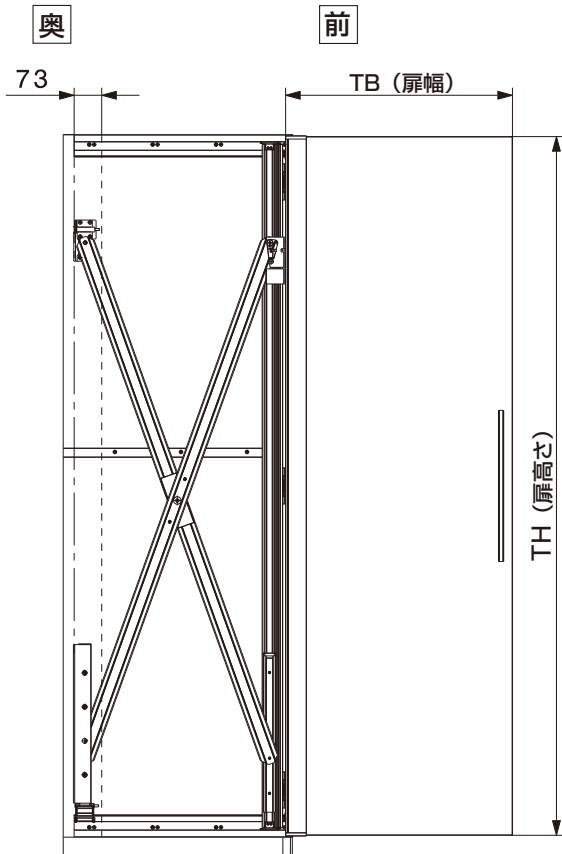
タイプ3 吊元と戸先に縦枠付
(戸先はタイプ4と同じ)



タイプ4 戸先に縦枠付



扉およびキャビネット各寸法の関係、条件



(単位mm)

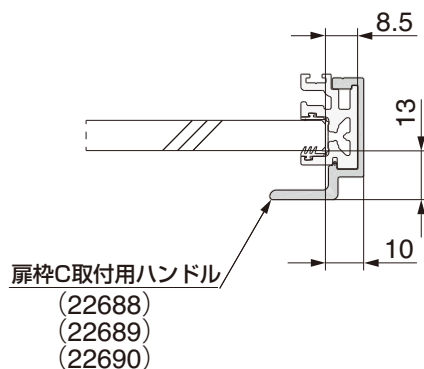
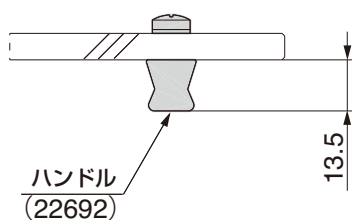
	T	TH	E
コンセプタ25	650 以下	1250~1850	577 以下
コンセプタ30	891 以下	1851~2500	818 以下

キャビネット内部奥行がTを超えている分には取り付けは可能ですが、扉の最大引込量Eは上記の通りとなります。逆にTより小さい場合、扉の最大引込量Eもその分小さくなります。

扉用ハンドル (オプション)

ハンドル (22692)

扉枠C取付用ハンドル (22688, 22689, 22690)



扉の大きさ、質量の目安

同じ大きさでも材質、構造により質量が異なりますので、おおよその目安としてください。
 表中25 (30) と表記されている範囲にしてください。
 それ以上、大きい扉にしたい場合は表中の数字 (kg) の質量以下になるようにしてください。

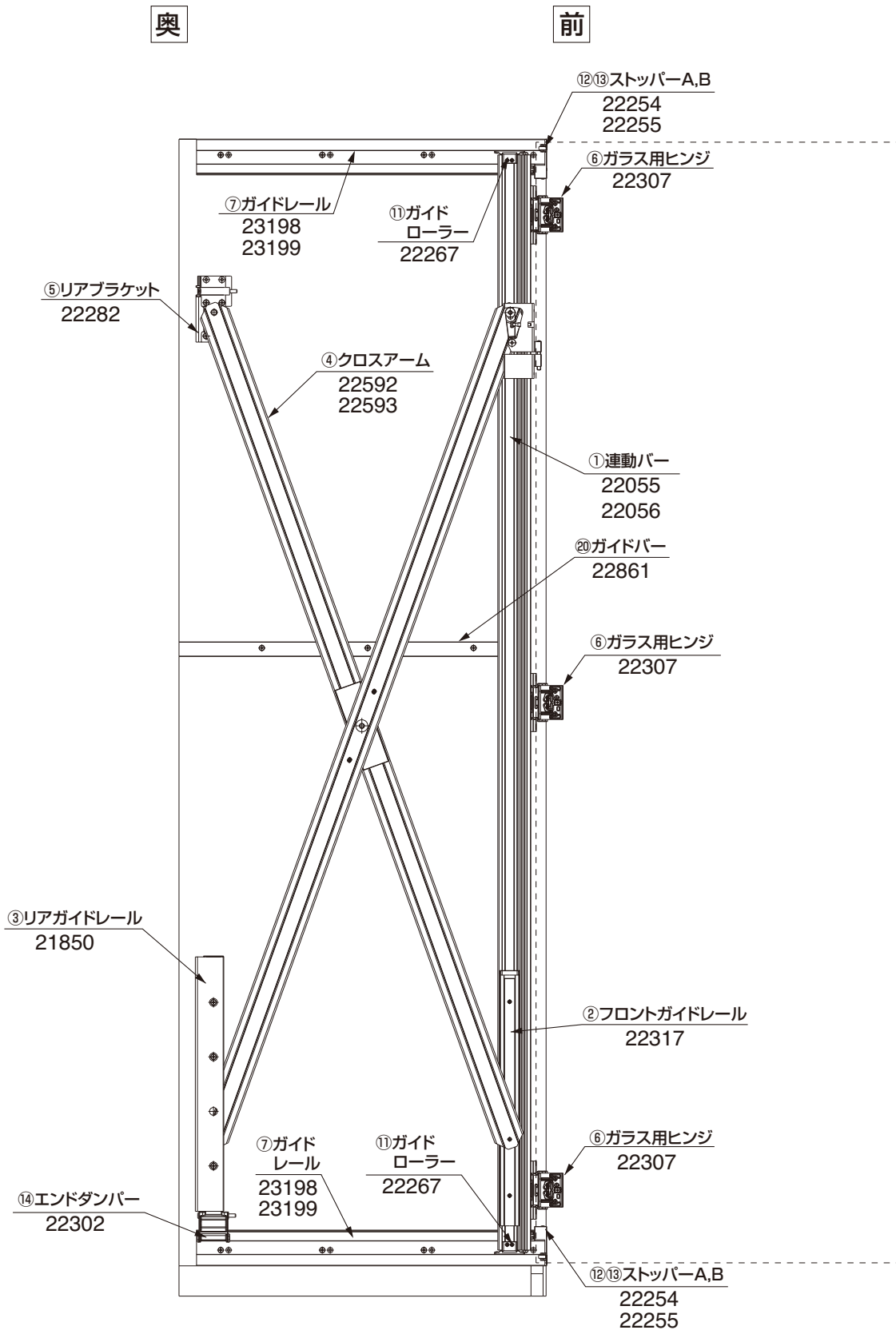
コンセプタ 25 (ガラス扉用) → 扉幅 (単位kg)

↓ 扉高さ	TH 扉高さ (mm)	TB 扉幅 (mm)												
		300	350	400	450	500	550	600	650	700	750	800	850	900
	1850	25	25	25	25	25	25	25	25	25	24	23	21	20
	1800	25	25	25	25	25	25	25	25	25	23	22	21	19
	1750	25	25	25	25	25	25	25	25	24	23	21	20	19
	1700	25	25	25	25	25	25	25	25	23	22	20	19	18
	1650	25	25	25	25	25	25	25	24	23	21	20	19	18
	1600	25	25	25	25	25	25	25	23	22	20	19	18	17
	1550	25	25	25	25	25	25	24	23	21	20	18	17	16
	1500	25	25	25	25	25	25	24	22	20	19	18	17	16
	1450	25	25	25	25	25	25	23	21	19	18	17	16	15
	1400	25	25	25	25	25	24	22	20	19	17	16	15	14
	1350	25	25	25	25	25	23	21	19	18	17	16	15	14
	1300	25	25	25	25	24	22	20	18	17	16	15	14	13
	1250	25	25	25	25	23	21	19	17	16	15	14	13	13

コンセプタ 30 (ガラス扉用) → 扉幅 (単位kg)

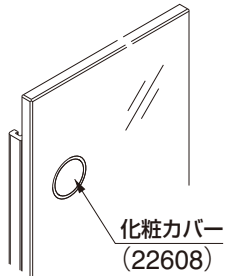
↓ 扉高さ	TH 扉高さ (mm)	TB 扉幅 (mm)												
		300	350	400	450	500	550	600	650	700	750	800	850	900
	2500	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	28
	2450	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	29	28
	2400	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	28	27
	2350	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	28	26
	2300	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	29	27	26
	2250	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	28	27	25
	2200	30	30	30	30	30	30	30	30	30	29	27	26	24
	2150	30	30	30	30	30	30	30	30	30	29	27	25	24
	2100	30	30	30	30	30	30	30	30	30	28	26	25	23
	2050	30	30	30	30	30	30	30	30	29	27	25	24	23
	2000	30	30	30	30	30	30	30	30	29	26	25	23	22
	1950	30	30	30	30	30	30	30	29	27	26	24	23	21
	1900	30	30	30	30	30	30	30	29	27	25	23	22	21
	1850	30	30	30	30	30	30	28	26	24	23	21	20	

部品の取付位置

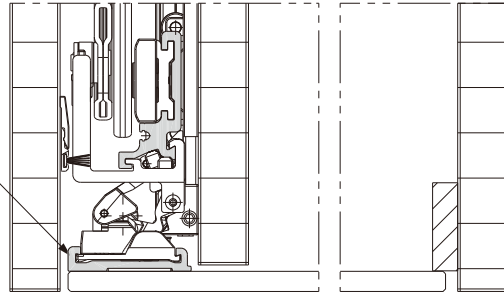


扉タイプ別部品取付位置

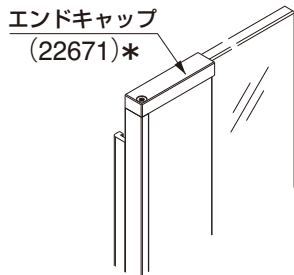
タイプ1 枠なし



⑯扉縦枠A
22436
22050



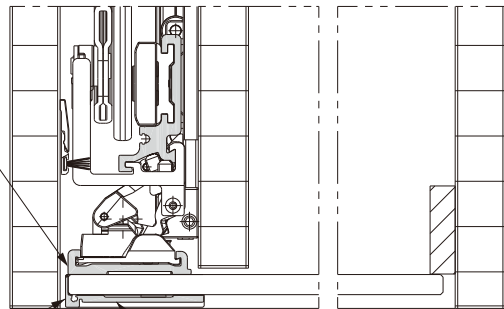
タイプ2 吊元に縦枠付き



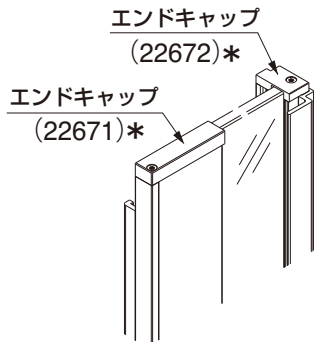
⑯扉縦枠A
22436
22050

扉縦枠B
(22053)*
(22054)*

エンドキャップ
(22671)*



タイプ3 吊元と戸先に縦枠付



①連動バー
22055
22056

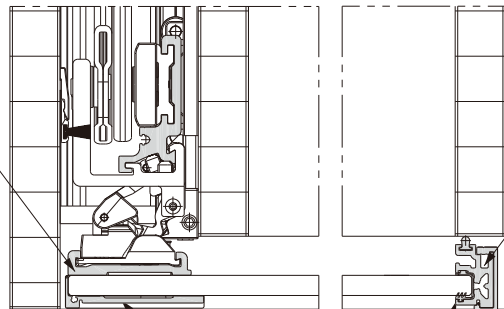
扉縦枠B
(22053)*
(22054)*

エンドキャップ
(22671)*

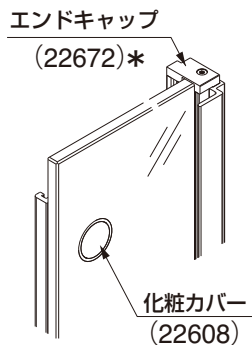
扉縦枠C
(22673)*
(22674)*

パッキン
(22678)*
(22679)*

ハンドル
(22688)
(22689)
(22690)



タイプ4 戸先に縦枠付

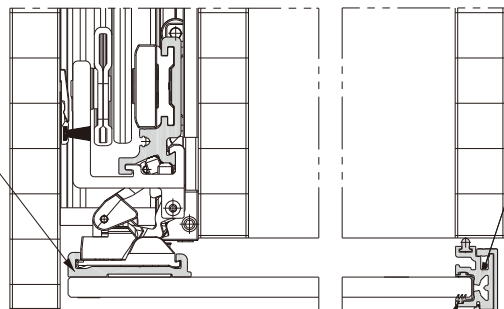


①連動バー
22055
22056

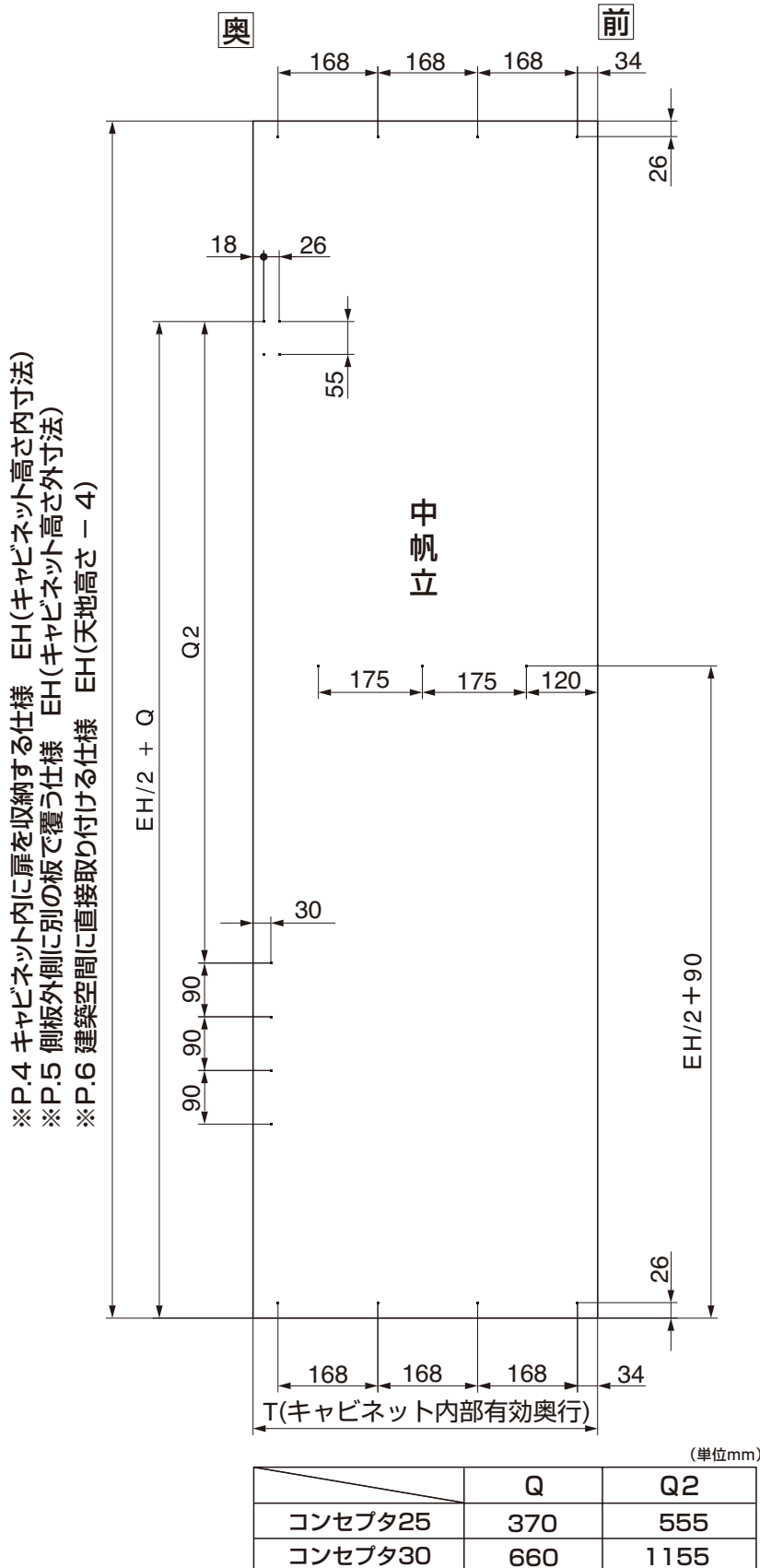
扉縦枠C
(22673)*
(22674)*

パッキン
(22678)*
(22679)*

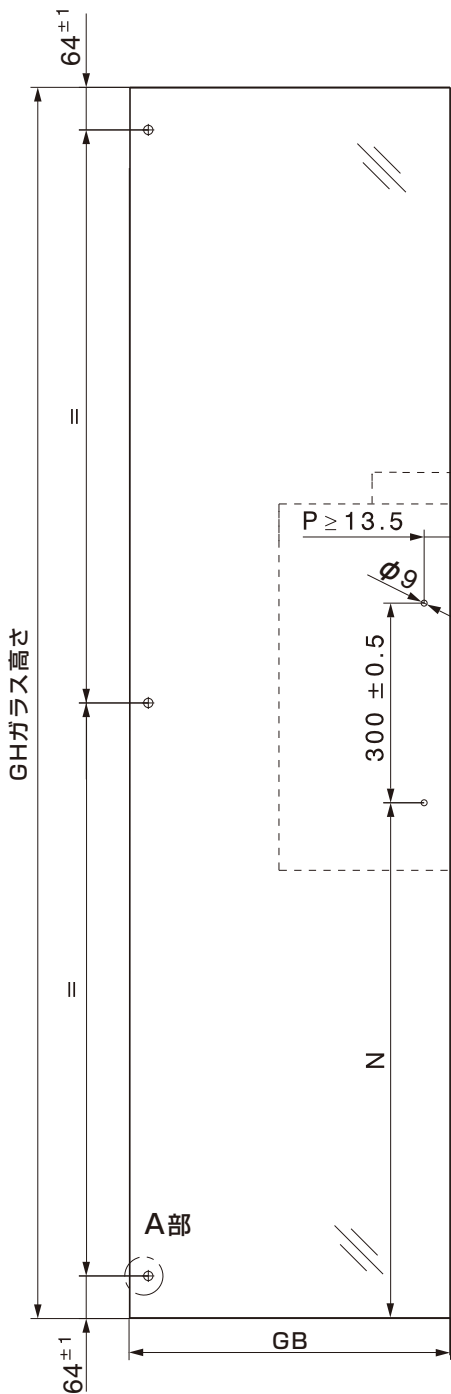
ハンドル
(22688)
(22689)
(22690)



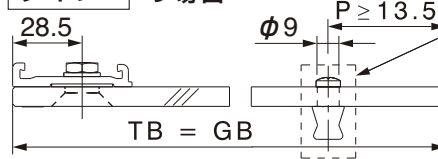
中帆立への部品取付穴位置



ガラス加工詳細図



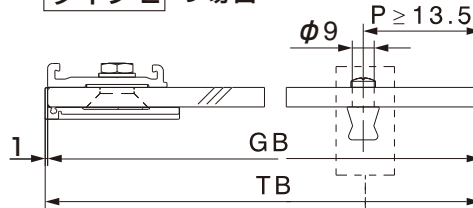
タイプ1の場合



ハンドル(オプション)を使う場合
(22692)

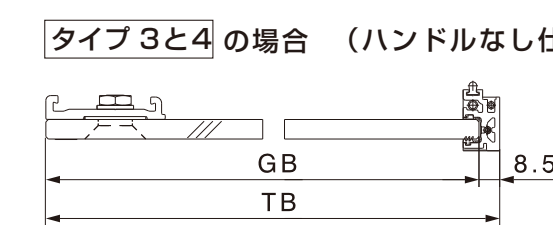
GB (ガラス幅) = TB (扉幅)
GH (ガラス高さ) = TH (扉高さ)

タイプ2の場合

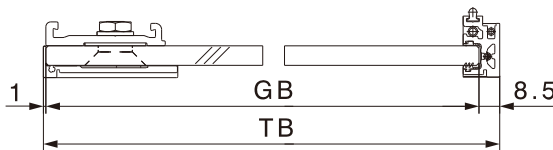


GB = TB - 1mm
GH = TH - 4mm

タイプ3と4の場合 (ハンドルなし仕様)

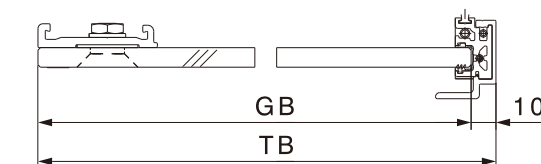


GB = TB - 8.5mm
GH = TH - 4mm

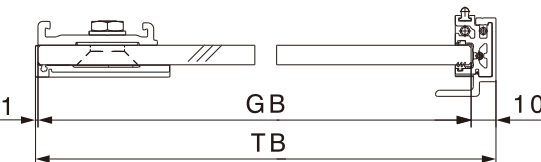


GB = TB - 9.5mm
GH = TH - 4mm

タイプ3と4の場合 (ハンドルあり仕様)



GB = TB - 10mm
GH = TH - 4mm



GB = TB - 11mm
GH = TH - 4mm

ガラス加工寸法 (ここに記録しておいてください)

使用ガラス	N (mm)	P (mm)	GH (mm)	GB (mm)
強化ガラス8 mm				

TH (扉高さ) GH (ガラス高さ) はP.4~6の図から算出します。
TB (扉幅) GB (ガラス幅) は P.7の図から算出します。
P, N (ハンドル用穴までの距離) はお客様で決めていただきます。

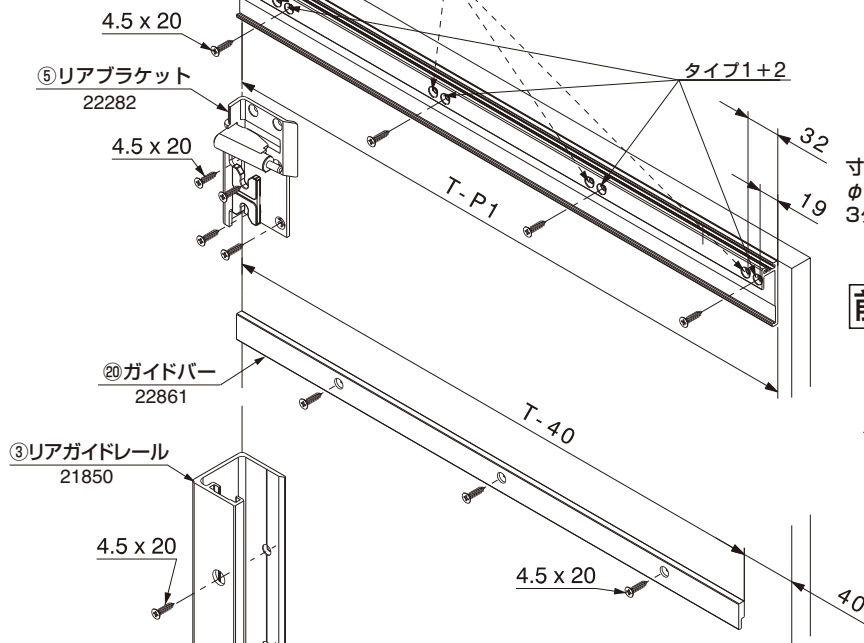
連動バーおよび上下ガイドレールの加工と組み立て、取り付け

連動バー①、上下ガイドレール⑦を指定に従い、寸法切りします。
付属ねじで中帆立に取り付けます。

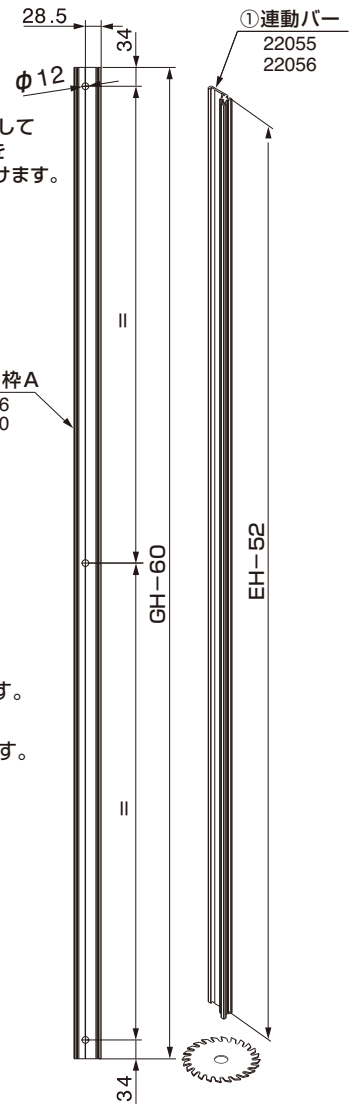
奥



リアブラケット⑤は左吊元用に組み立ててあります。
右吊元に取り付ける際は、ダンパー部が上方になる
ように組み替えてください。



前



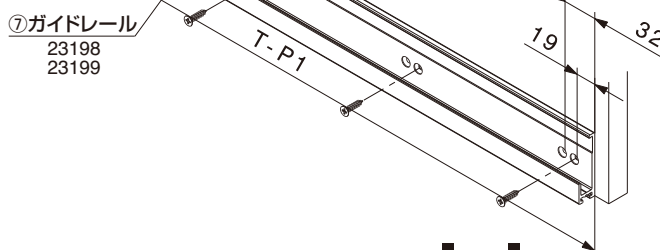
・上下のガイドレール⑦はいずれも取り付けの際の後側
(キャビネットの奥側)にあたる方を寸法切りします。
本取付説明書記載の穴位置もそれに合わせてあります。
・寸法は扉タイプによって異なります。
・取付穴も扉タイプによって使用する取付穴が異なります。

エンドダンパー⑭について
・あとからだど取付困難になるので、ここで最初に
取り付けてください。
・左吊元用に組み立ててあります。右吊元に取り付ける
際はダンパー部を反対側に組み替えてください。



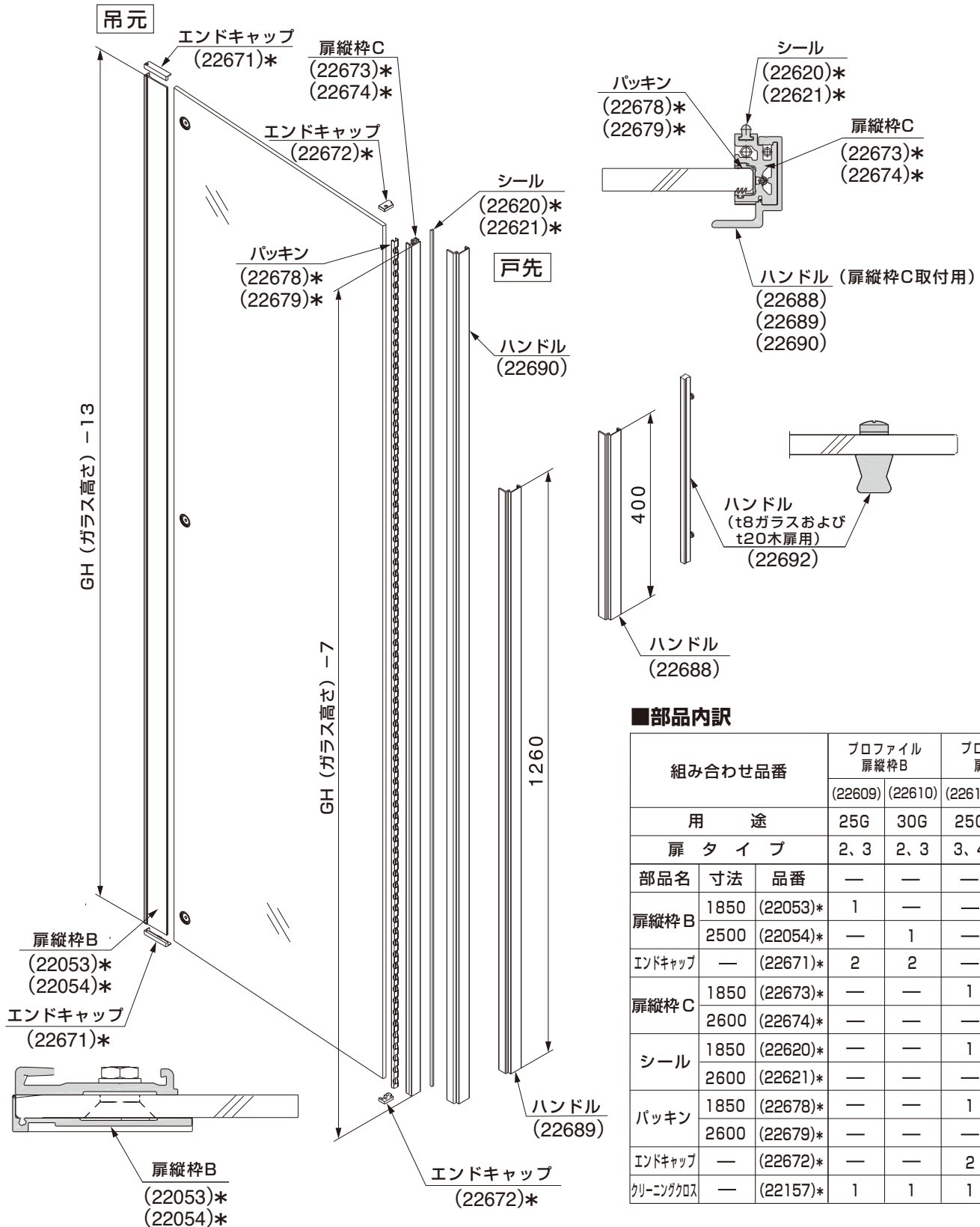
(単位 mm)

扉タイプ	P1
タイプ1、2	16
タイプ3、4	3



EH, GHはP.4~6の図から算出
TはP.8, 13を参照

扉への部品取付位置および縦枠の加工

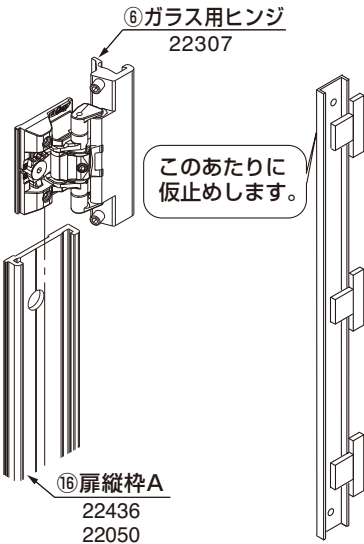


■部品内訳

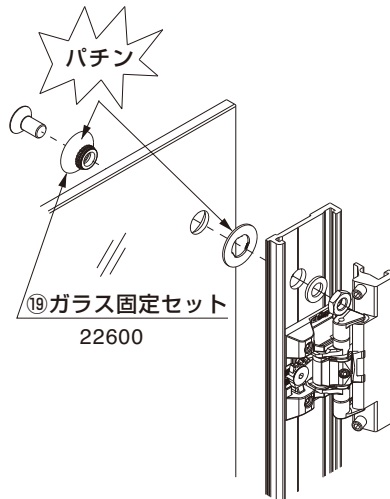
組み合わせ品番			プロファイル 扉縦枠B		プロファイル 扉縦枠C	
			(22609)	(22610)	(22612)	(22613)
用途			25G	30G	25G	30G
扉タイプ			2、3	2、3	3、4	3、4
部品名	寸法	品番	—	—	—	—
扉縦枠B	1850	(22053)*	1	—	—	—
	2500	(22054)*	—	1	—	—
エンドキャップ	—	(22671)*	2	2	—	—
扉縦枠C	1850	(22673)*	—	—	1	—
	2600	(22674)*	—	—	—	1
シール	1850	(22620)*	—	—	1	—
	2600	(22621)*	—	—	—	1
パッキン	1850	(22678)*	—	—	1	—
	2600	(22679)*	—	—	—	1
エンドキャップ	—	(22672)*	—	—	2	2
クリーニングクロス	—	(22157)*	1	1	1	1

ガラス扉への部品の取り付け

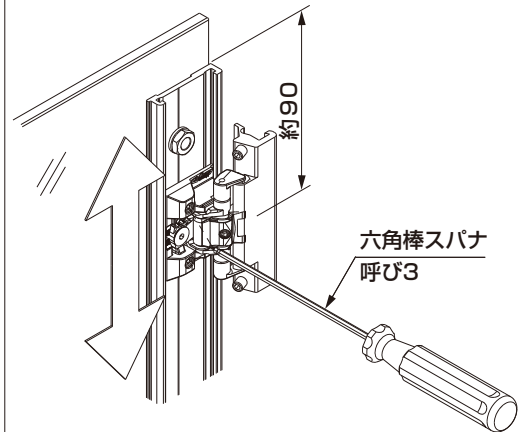
1 ガラス用ヒンジ⑥を3個、扉縦枠A⑯に通し、仮止めします。



2 組み立てた扉縦枠A⑯をガラス固定セット⑱でガラスに固定します。



3 ガラス用ヒンジ⑥を固定します。

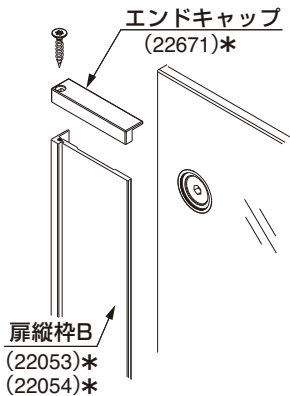


タイプ別部品の取り付け

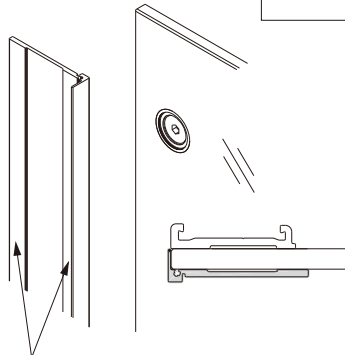
縦枠の取り付け

タイプ2 タイプ3

〈1〉 扉縦枠Bの上下にエンドキャップをねじ止めします。



〈2〉 縦枠の裏面テープの剥離紙をはがし、縦枠をガラスに接着します。

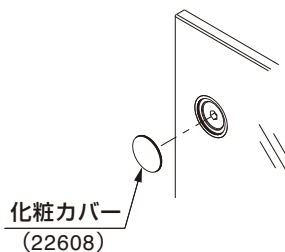


確実に接着できるよう、クリーニングクロスでガラス面の接着する部分をきれいにしてください。

化粧カバーの取り付け

タイプ1 タイプ4

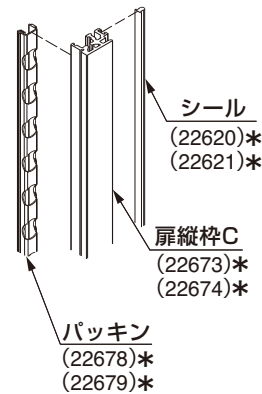
裏面テープの剥離紙をはがし、接着します。



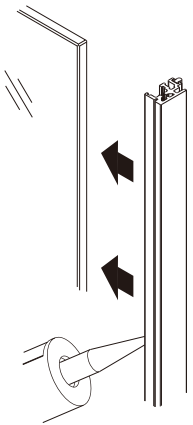
扉縦枠Cの取り付け

タイプ3 タイプ4

〈3〉 各部品を組み立てます。



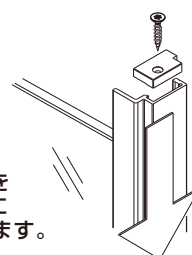
〈4〉 シリコン充填剤あるいは接着剤でガラス戸先端部に接着します。



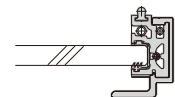
ハンドル(扉縦枠C取付用)の取り付け

タイプ3 タイプ4

〈5〉 ハンドルを扉縦枠Cに差し込みます。

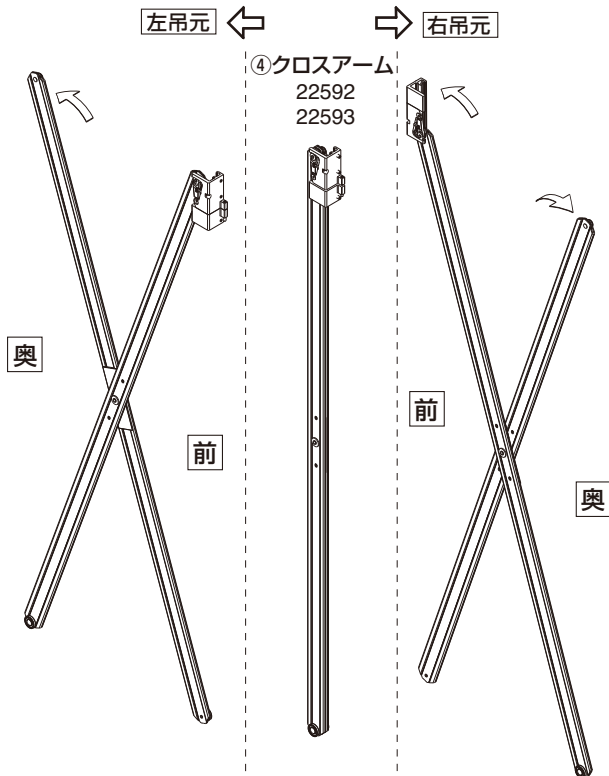


〈6〉 扉縦枠Cの上下にエンドキャップをねじ止めします。

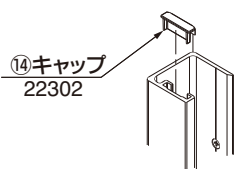


クロスアームと連動バーの組み立ておよび取り付け

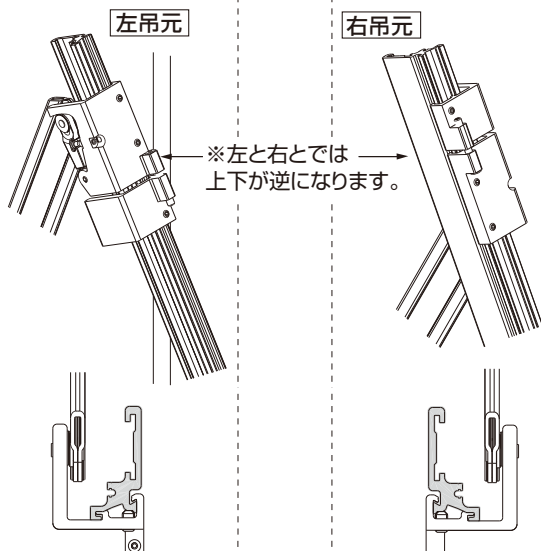
クロスアーム④は左右共用ですが、左吊元か右吊元によって使う向きが逆になります。



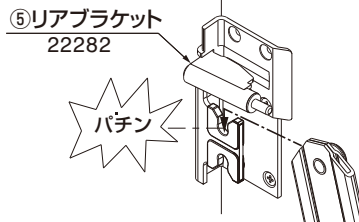
3 キャップ⑭を差し込みます。



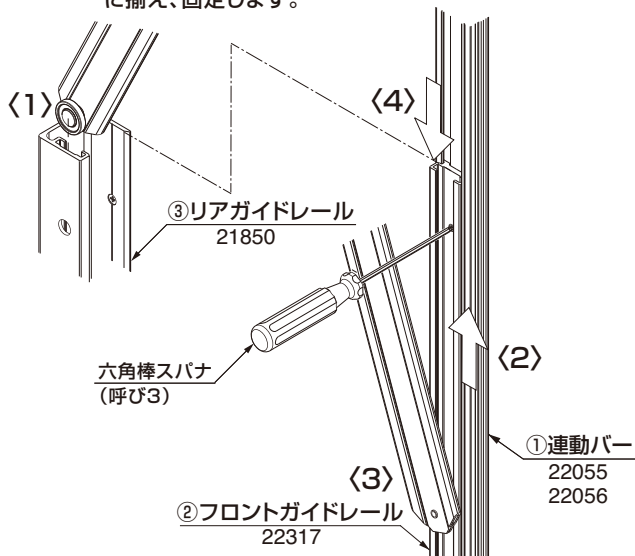
4 クロスアーム④前上部に連動バー①を通します。



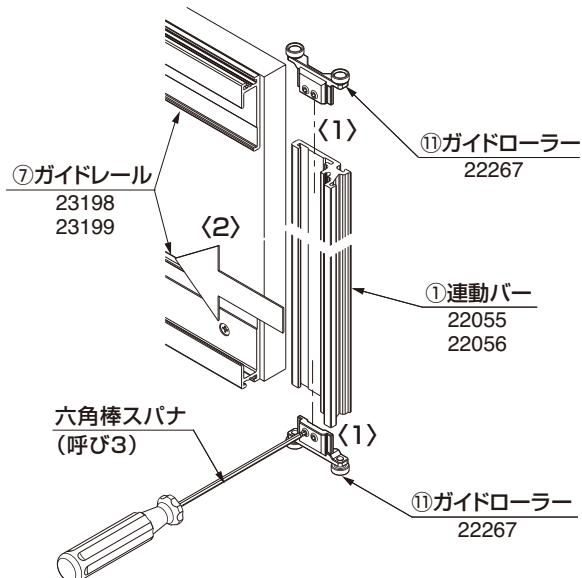
1 クロスアーム④後上部をリアブラケット⑤に接続します。パチンとしっかりはめ込みます。



2 <1> クロスアーム④後下部をリアガイドレール③に挿入します。 <2> 連動バー①内のフロントガイドレール②を一度、上の方へずらします。 <3> クロスアーム④前下部をフロントガイドレール②に挿入します。 <4> フロントガイドレール②をリアガイドレール③と同じ高さに揃え、固定します。

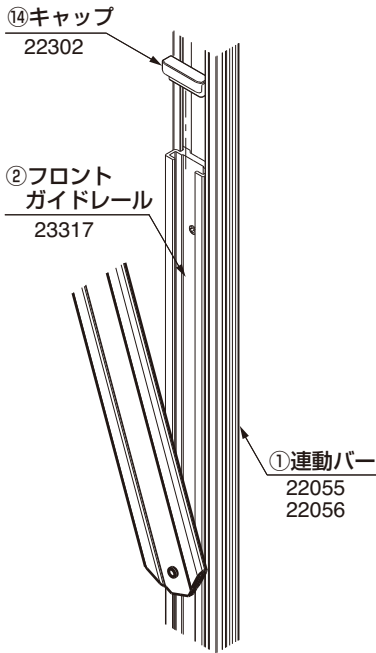


5 <1> 上下のガイドローラー⑪を連動バー①に取り付けます。 <2> 連動バー①を上下のガイドレール⑦に挿入します。

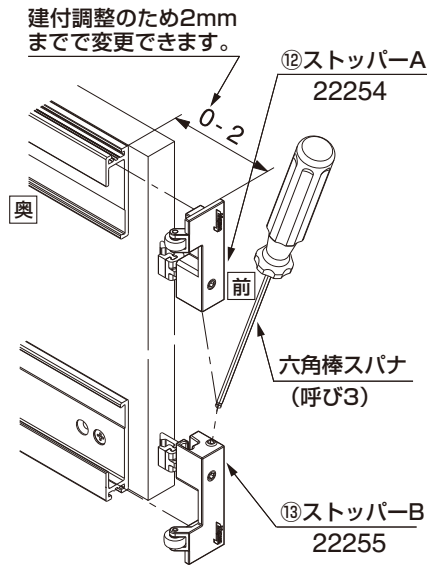


クロスアーム、アップライト金物と扉の取り付け

6 フロントガイドレール②にキャップ⑭をはめ込みます。

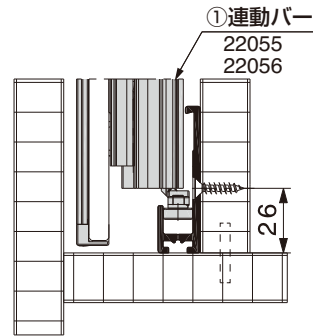
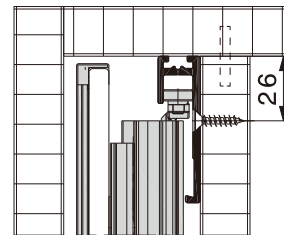
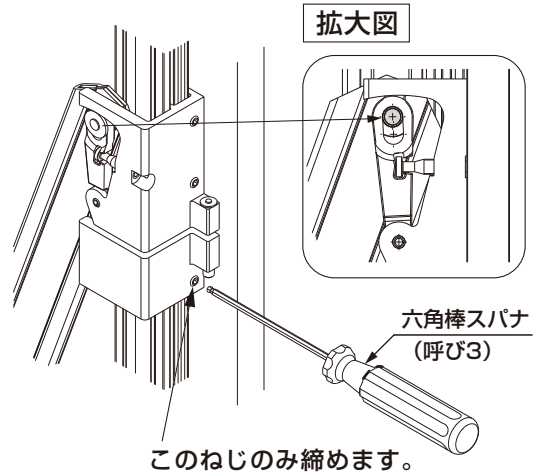


7 ストッパーA,B⑫⑬を取り付けます。

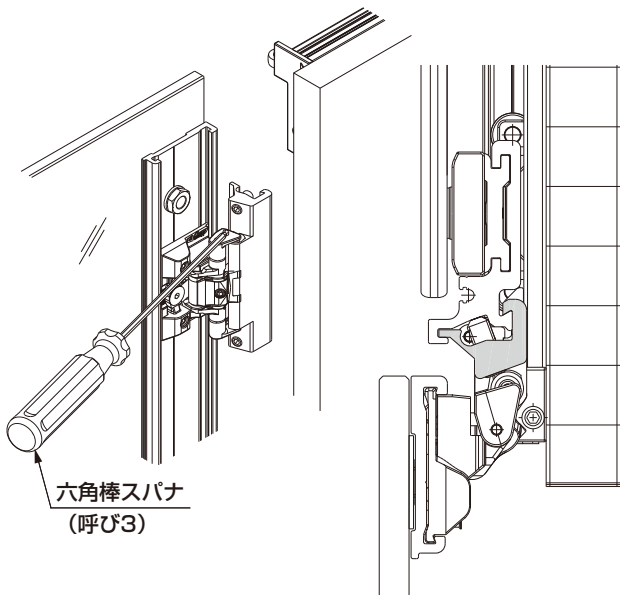


図は左吊元の場合です。
右吊元の場合は上下が逆になります。

8 連動バー①と上下ガイドレール⑧の間を均等にし、調整部分を拡大図に示す位置にしようえで、クロスアーム④前上部を連動バー①に固定します。



9 ガラス扉に取り付けたヒンジ⑥を連動バー①に取り付けます。



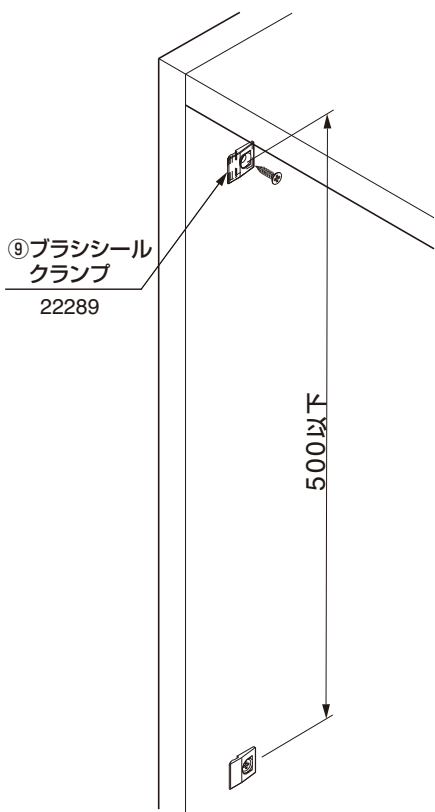
扉の高さをきちんと調整しようえで、ねじを締めてください。



連動バー①は上下方向の真ん中の高さにします。上すぎて上のガイドレール⑦に干渉しないよう注意して、ねじを締めてください。

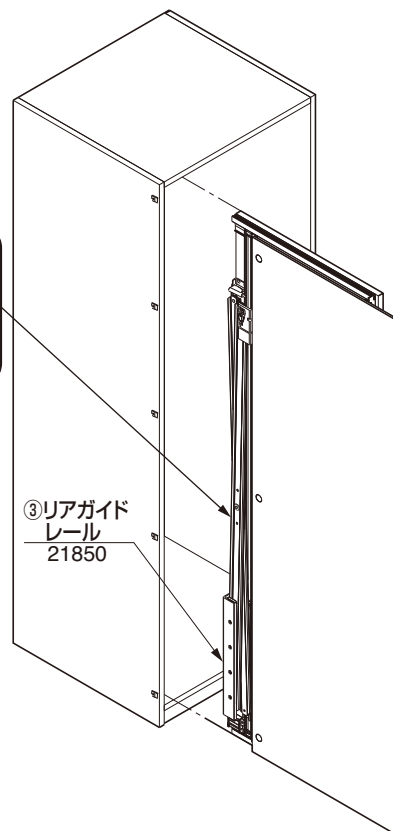
部品を組み込んだ中帆立とブラシシールの取り付け

- 1** ブラシシールクランプ⑨を500mm以下の間隔で(ただし、リアガイドレール③を差し込む場所(右図参照)を避けて)、側板内側に取り付けます(部品は前後があるので注意)。奥行位置は下図4を参照ください。



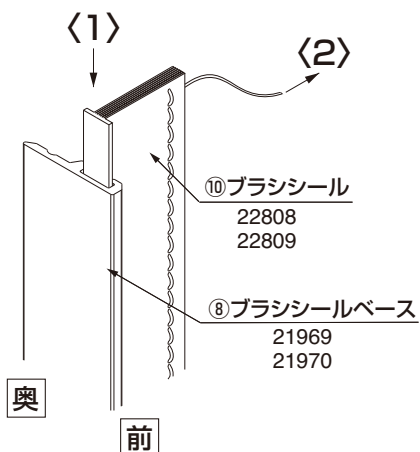
- 2** 組み立てた扉、金物、中帆立をキャビネットに挿入、固定します(メンテナンスに備えて、中帆立は取り外せるようにしておきます)。

注意
指はさみに注意。
可動部分に触れないこと。



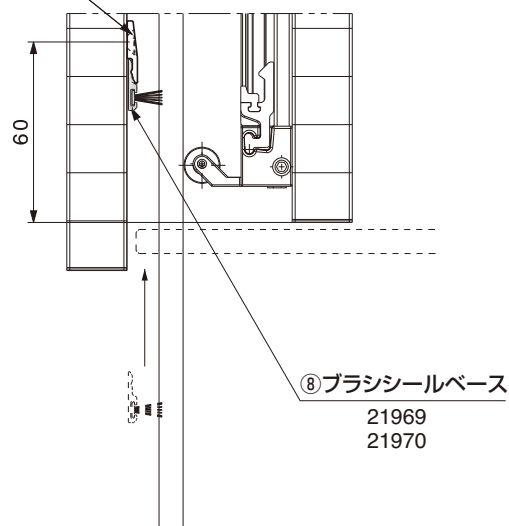
- 3** <1> ブラシシールベース⑧に、ブラシシール⑩を通します。

<2> 綴じひもを外します。



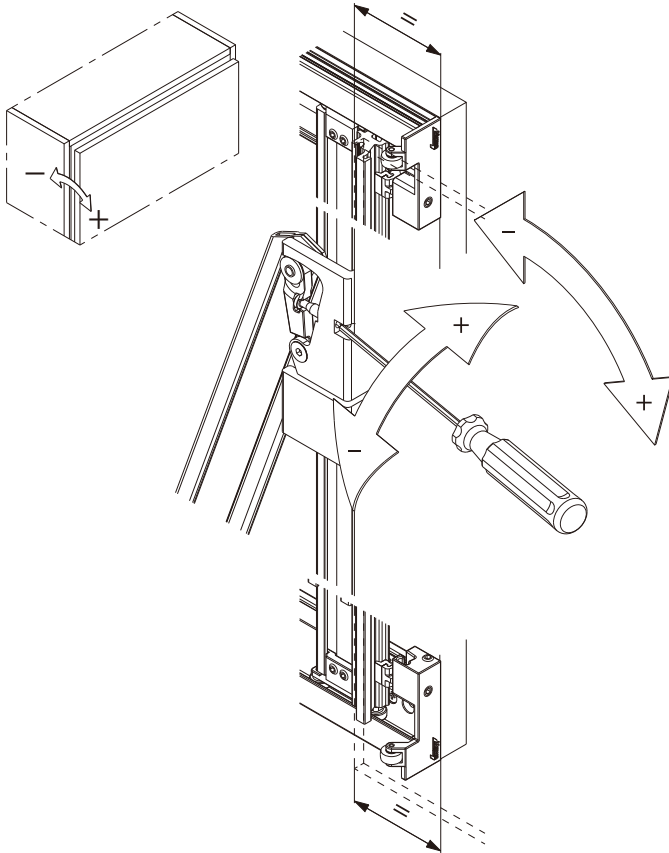
- 4** 組み立てたブラシシールベース⑧をブラシシールクランプ⑨にはめ込みます。

⑨ ブラシシールクランプ
22289



扉その他の建て付けの調整

1 前後傾きの調整



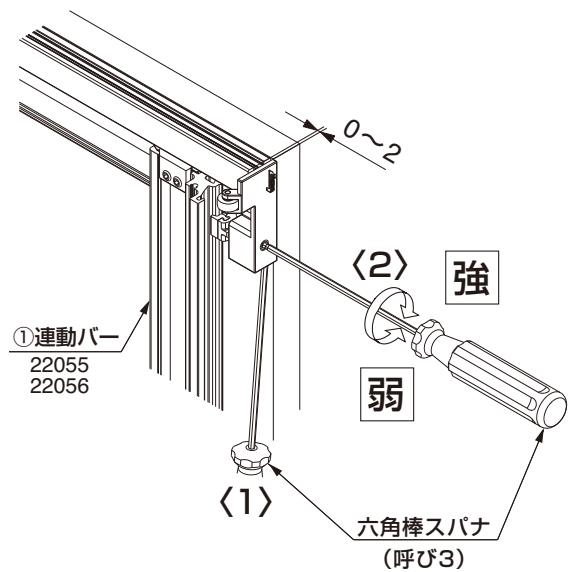
2 キャッチの調整

扉を引き出した際、連動バー①が上下同時にキャッチするように調整します。

位置が合わない場合、ストッパーの位置を手前2mmまで変更できます。

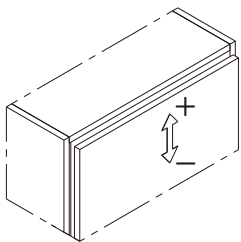
〈1〉ストッパーをゆるめ、位置をずらし、再度固定します。

〈2〉キャッチ力を調節します。

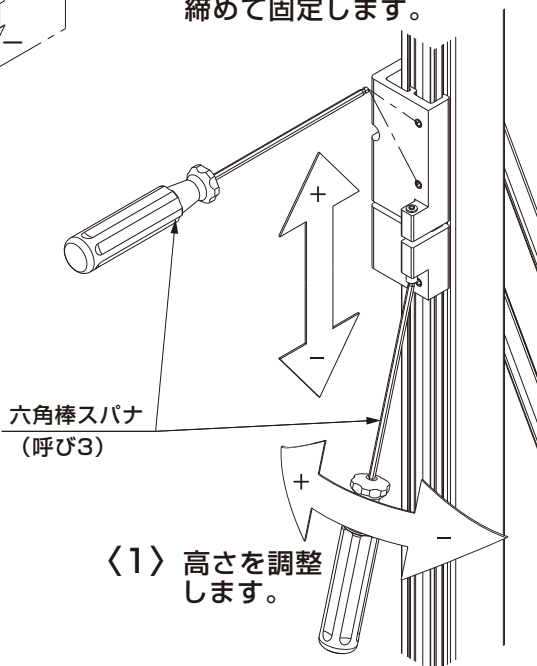


3 上下の調整

左吊元の場合



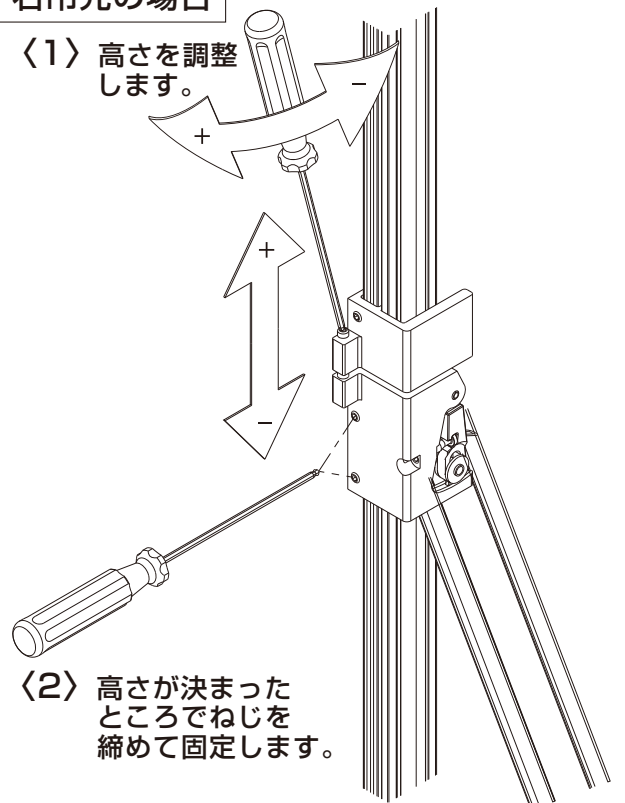
〈2〉高さが決まったところでねじを締めて固定します。



〈1〉高さを調整します。

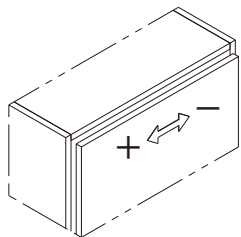
右吊元の場合

〈1〉高さを調整します。

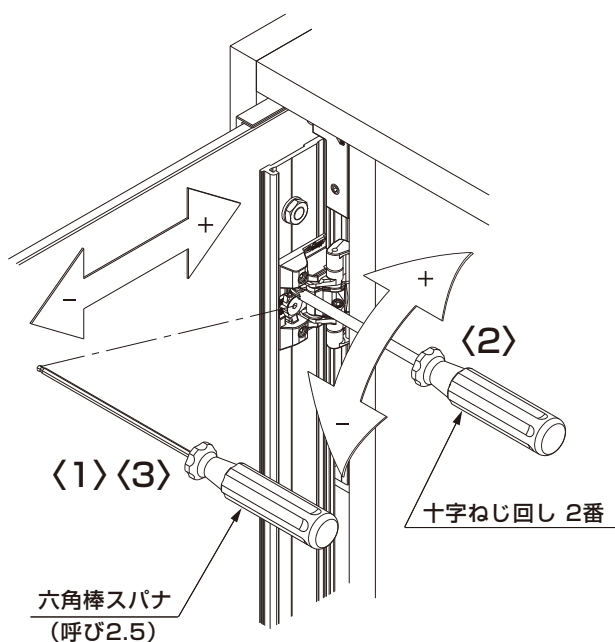


〈2〉高さが決まったところでねじを締めて固定します。

4 左右の調整

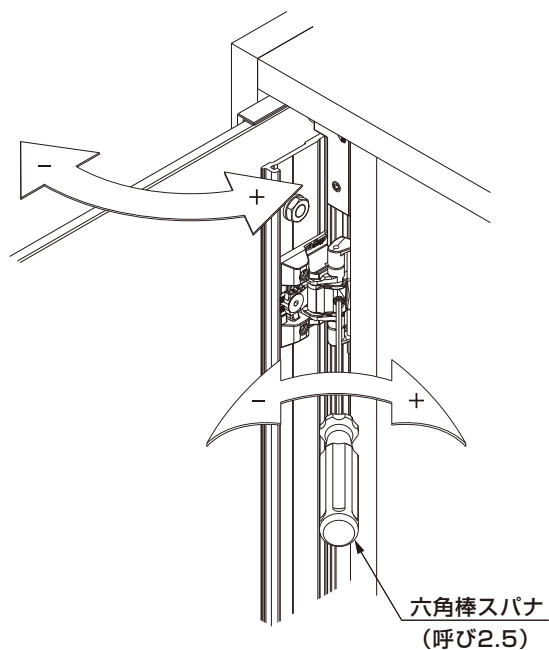


- 〈1〉 ヒンジ⑥カップ内のねじを一旦緩めます。
- 〈2〉 歯を動かし、出入りを調整します。
- 〈3〉 決まったところで、ヒンジ⑥カップ内のねじを締めます。



5 開き角度の調整

- ・ ヒンジ⑥を3個とも、同じ調子に合わせます。
- ・ ガラス扉が、ストッパー脇のローラーに軽く当たるくらいにするのが目安です。周囲と大きく干渉しないように調整します。



MEMO

MEMO

H A W A - コンセプタ25/30(ガラス扉用)

MEMO

本製品に関するご質問・ご相談は、お買い求めいただいた販売店、または下記の窓口をお願いいたします。

電話番号 **03(3864)1122**

受付時間 **月～金 9:00～17:30** (年末・年始・夏季休暇等は除く)

FAX 03(3863)6875

E-mail: support@sugatsune.co.jp

東京都千代田区岩本町2-5-10 〒101-0032

SUGATSUNE **スガツネ工業**
LAMP 印の機能&デザイン金物メーカー

ISO 9001 (JSAQ384) ・ ISO 14001 (JSAE597) 審査登録
※ISO9001: 国内各拠点 ※ISO14001: 千葉事業部 千葉工場 および 物流事業部 物流センター
<http://www.sugatsune.co.jp/>